



2016年 教育学部 (算数・技術) 第4問

4 $-\sqrt{2} \leq x \leq \sqrt{2}$ の範囲で、点Pは放物線 $y = -x^2 + 2$ 上を動き、点Qは放物線 $y = x^2 - 2$ 上を動く。ただし、PとQは異なる点とする。

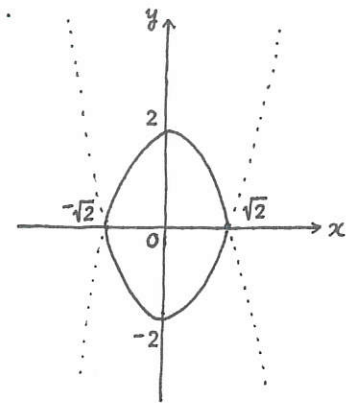
- (1) 直線PQが原点を通るとき、線分PQの長さの最大値と最小値を求めよ。
 (2) 線分PQの長さの最大値を求めよ。

(1) 直線PQが原点を通るとき、PとQは原点に関して対称なので

$$P(t, -t^2+2), Q(-t, t^2-2) \quad (-\sqrt{2} \leq t \leq \sqrt{2}) \text{ と表せる。}$$

$$\begin{aligned} \therefore PQ &= 2\sqrt{t^2+(-t^2+2)^2} \\ &= 2\sqrt{t^4-3t^2+4} \\ &= 2\sqrt{(t^2-\frac{3}{2})^2+\frac{7}{4}} \end{aligned}$$

ここで、 $0 \leq t^2 \leq 2$ より、最大値は4、最小値は $\sqrt{7}$ 、



(2) 直線PQが原点を通らないときを考えると、

$\triangle OPQ$ において、三角形の成立条件より、

$$PQ < OP + OQ \quad \dots \textcircled{1}$$

ここで、 $P(t, -t^2+2)$ とおくと、

$$OP = \sqrt{t^2+(-t^2+2)^2} \quad \text{よって、(1)の計算より、} OP \leq 2$$

図形の対称性より、 $OQ \leq 2$

よって、 $\textcircled{1}$ より、 $PQ < OP + OQ \leq 4$

\therefore (1)とあわせて、PQの最大値は4、